

令和3年度第3回始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議開催結果

【概要】

日時：令和4年3月28日（月） 18時30分～19時20分
場所：始良・伊佐地域振興局霧島庁舎（始良保健所）2階会議室
出席者：委員18名（代理出席3名含む。）
傍聴者：18名（行政関係者10名，その他8名）

1 協議事項（要旨） ※抜粋

(1) 2025年に向けた具体的対応方針について

・ 加治木温泉病院

現在，急性期病床37床，回復期病床114床，慢性期病床119床，介護医療院80床の計315床で運用している。

2025年には機能分化を図る目的で，病院を分割し，現在の加治木温泉病院の他に旧サンピアあいら敷地内に病院を建築する予定である。

急性期病床を回復期病床に移し，慢性期病床を減少し，その一部を介護医療院に転換する予定であり，2025年時点で回復期150床，慢性期80床の計230床とする計画である。（介護医療院は120床）

⇒ 異議なし。具体的対応方針について合意された。

当地域では，急性期病床と慢性期病床は過剰となっており，回復期病床は不足している。

今回，急性期病床から回復期病床への転換，また，慢性期病床から介護医療院への転換は地域医療構想の目的に沿っている。

・ ザ王病院

現在，慢性期病床146床の計146床で運用している。

2025年には慢性期病床の一部を介護医療院へ転換する予定である。

2025年時点で慢性期86床の計86床とする計画である。（介護医療院は60床）

⇒ 異議なし。具体的対応方針について合意された。

慢性期病床から介護医療院への転換は地域医療構想の目的に沿っている。

・ 大井病院

現在，急性期病床52床，回復期病床67床の計119床で運用している。

病院新築や病床機能の変更等の構想もあるが、現時点では、現状を維持していく予定である。

⇒ 異議なし。具体的対応方針について合意された。

（ 当地域の急性期医療を担っており、急性期病床の確保は必要である。 ）

- ・ 隼人温泉病院
現在、回復期病床 76 床、慢性期病床 49 床の計 125 床で運用している。
2025 年時点では、現状を維持していく予定である。

⇒ 異議なし。具体的対応方針について合意された。

（ 心疾患や脳血管疾患のリハビリ等を担っており、地域に必要な医療を提供している。 ）

(2) 今後の進め方について

- ・ 来年度 1 回目の会議では、合意済の県立北薩病院を除く伊佐市内の 4 病院について、協議を行う予定である。
- ・ 「地域医療介護総合確保基金」の 2 事業（「病床機能再編支援事業」、「病床の機能分化・連携支援事業」）について情報提供を行った。

（意見）

＜資料 5 について＞

九州厚生局のデータは入院基本料を元に病棟等によらず病床数を報告することとなっているが、本会議では病床機能報告に基づいた病床数を記載した方が分かりやすいのではないかとの意見あり。

⇒ データの提供方法等については今後検討していきたい。